



永友社長（右）から会社について説明を受ける生徒

# 仕事への意識高める

2024/9/18  
デイリー

## 地元企業で見学やインターンシップ

延岡・旭中

延岡市立旭中学校（石川優子校長、2004人）の2年生80人が8日、市内の企業を訪問、見学する職場訪問学習を行った。

見学やインターンシップを通して、働くことの意義や職業に対する意識を高めることも、将来の仕事について考えるきっかけとすることが目的。2年生は2班に分かれて、それぞれ社を訪問した。

同市天下町の産業機

生徒は興味を持って使われているペーパリングに興味津々



械商社・三井（永友社長）には、42人の生徒が訪問。社員が、商品が整頓されている倉庫内を見ながら、同社の主力商品としてメーカーから仕入れていくペーパリングとポンプを紹介。このうち、ペーパリングは機械の軸をなめらかに回転させる部品で、飛行機のジェットエンジンや風車などの身近なものに使われており、ペーパリングは摩擦をゼロに近づける役割を担っている。小さな力で回転をスムーズにさせている」と説明した。

その後、同社の社員は働く上で周りの人やものとの気を配っているとし、「私たちが『心配り』が心配り』『心配り』が心配り』『心配り』が心配り』の五つを重要視して仕事をしている」と話した。また、事務所では永友社長が同社の概要を説明し、商社について解説している動画を視聴した。永友社長は学んだことを頭の片隅において、勉強で励んでください。また、仕事はいろいろなことに興味を持ってください」と締めくくった。

川崎温心さん（13）は「説明を聞いて商社の役割がよく分かった。部品を保管している倉庫がきれいに整頓されていてすごい」と思ったと話していた。なお、8日には同市立植富中学校の2年生が職場訪問学習を行う予定。